

サマリ：

本ドキュメントはユースケースを提供し、oneM2M準拠のサービスプラットフォームが提供する機能を利用してアプリケーションを開発するアプリケーション開発者にガイドを示します。

目次：

1章 所掌範囲（目的）

本ドキュメントはアプリケーション開発者が、oneM2Mに準拠するサービスプラットフォームにより提供される機能を利用してアプリケーションを開発するためガイドを示します。そのスコープは以下の通り。

- ユースケースの目的
- ユースケースのアーキテクチャのoneM2M準拠サービスプラットフォームとのマッピング
- ユースケースを実装するための実行手順
- ユースケース実装の詳細

2章 引用文献

3章 定義、略語と頭字語

4章 表記法

5章 ユースケース

本章では、oneM2Mプラットフォームが提供するユースケースをサービスの視点で記述。スマートフォンを利用した遠隔照明制御のユースケースについて記載する。

6章 アーキテクチャ

ユースケースをoneM2Mのコンポーネントを利用して実装するアーキテクチャについて記述する。

7章 手順

oneM2M標準を、本ユースケースでは「登録」、「初期リソース生成」など6つの手順に分類し、手順毎にコールフローを用いて説明する。

8章 実装

遠隔照明制御のユースケースを正しく実装する為の前提、諸条件、リソースツリーについて記述する。

9章 結論

本ユースケースでは、スマートフォン上のアプリケーションがoneM2Mサービスプラットフォームのリソースにアクセスすることにより、照明を遠隔制御する。

付則 A（情報）リソースの読み上げ

本ユースケースの各コールフローの中で生成されたリソースは、スマートフォン上のアプリケー

ションから読み出すことができる。I N-A Eがターゲットリソースを読み上げるために発行するR E T R I E V E要求について示す。

Summary:

Provides an use case for guiding application developers to develop applications using functionalities provided by an oneM2M service platform

The present document provides a guide for application developers to develop applications using functionalities provided by any oneM2M compliant service platform with the scope of followings:

- Objective of the use case,
- The architecture of the use case mapped into an oneM2M service platform,
- The execution procedures for implementation of the use case, and
- Implementation details of the use case.